

第3種郵便物認可

発達障害、事例で紹介

NPPO法人
ノンラベル 田井さん、本出版

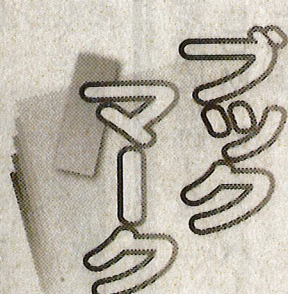
アスペルガー症候群など発達障害のある成人をサポートするNPPO法人「ノンラベル」(南区)の理事長・田井

みゆきさん(55)が、「サポートは特性理解」(クリエイツかもがわ)を出版した。障害の特性と適切な対応について、典型的な事例を挙げてわかりやすくまとめている。

ノンラベルは、2001年に発足。発達障害のある成人と保護者の支援を主としており、就労支援にも積極的に取り組んでいる。近畿だけでない



ノンラベルの田井みゆきさん＝南区久世川原町



く、関東や九州などからも相談者が来ている。

同書では、田井さんが実際に相談を受けた中から20事例をピックアップ。足の骨折に気づいていなかった中学生の事例では、アスペルガー症候群の人は、体の痛みに非常に敏感だったり、鈍感だったり

することがあることを説明。受診の遅れを避けるためには、普段から周囲が気を付けるべきだと指摘。初めての場所や人が苦手なため、「リハール」として小さい頃から病院へ行くことに慣れておくことの大切さをアドバイスしている。

このほか、「お風呂に数時間入り大声を出す青年」は、実は、上がるタイミミングがわからず困っていたことを説明。「40分ほどたつと家族が声をかける」ことで問題が解決したという。

アスペルガー症候群の人は、聴覚や嗅覚、味覚などの感覚が過敏なことがあり、それが、不快やパニックの原因になっていることもある。田井さんは「よかれと思ってやったことが、逆に本人を苦しめることがある。特性を知ることがとても大事。保護者や支援者だけでなく、障害のある本人にも読んで欲しい」と話している。

204ページ。2千円(税別)。